

(公社)法皇青年会議所交流誌

クロスロード

Vol.11

2018年3月号



理事長挨拶

「挑む」

第22代理事長 たけおか ひろあき 武岡 宏明



いよいよ2018年度がスタートし、1月4日より法皇青年会議所の活動が始まり、新年交歓会、紙の初市、市長表敬訪問、スタッフ会、理事会、京都会議、1月度例会、通常総会が無事に終わりました。また2月に入りまして四国地区協議会、第一エリア合同公式訪問例会、愛媛ブロック協議会と1月、2月は日本、地区、ブロックと、そして我々法皇青年会議所としても本年度の運動の始まりを迎えております。法皇青年会議所は本年で22年目を迎えることとなりました。また創立20周年を契機に新たな一步を踏み出した我々の活動がさらなる飛躍となるよう、本年度は『挑む』をスローガンに掲げ、『どんなことにも立ち向かう!どんな局面でも自分自身の限界に挑戦する!』精神をメンバー全員が強くもち、法皇青年会議所が変革し続ける一年にします。

それにはまず、我々の活動は誰のために何のためにあるのかということ了我々自身が理解する必要があります。それは地域に住む人々に変革を与えていくことです。そしてその活動に込めた想いが伝わってこそ、人々の心を動かし賛同や共感を得ることができるのです。私たちの熱い想いを伝えるべく、様々な活動を通して広く発信していきます。

本年、我々は64名のメンバーでスタートし、総務広報委員会・地域の魅力発見委員会・まちづくり委員会・会員向上委員会の4委員会で構成しています。総務広報委員会ではこのクロスロードの発行と法皇青年会議所のブランディング事業を主に事業を構築してもらいます。また地域の魅力発見委員会では青年会議所だけに限らず、この地域で活動する他団体との交流であったり、市との連携の強化といった所を意識した事業を展開してもらいます。まちづくり委員会においては青少年育成事業をはじめ地域に根付く事業の構築をしてもらいます。また会員向上委員会では、会員の資質向上、意識の向上といったひとつづくりの体制の強化を中心に事業を構築してもらいます。本年は、まちづくりがひとつづくりであり、ひとつづくりがまちづくりであるということ意識しながら活動し、活動する中で自分自身の成長につながるよう、また大いなる友情が深まるよう活動をします。まずは一步、小さな一步を共に踏み出そう。動くこと、踏み出すことが『挑む』ということであり、メンバー一人ひとりの小さな一步は法皇青年会議所が変わり続けるための大きな一步になると、私は確信しています。

また、我々が地域の発展のために事業を行う上でもっとも大切なことはその事業を構築する過程にあります。委員会で思い描いたものを形にする中で、どれだけの議論を重ね、多くの時間を仲間と共に過ごし、その形を創り上げるかがすべてであり、その過程が結果へと結びつくのです。想いの詰まった事業は必ず成功し、地域の皆様にその想いが伝わり心に響くのです。また、成功したときの喜びは、やればやるほど大きくなり友情も深まります。また、たとえ失敗しようとも、結果に結びつかずともその努力は決して無駄にはなりません。必ず経験として残るとともに、さらに強い絆で結ばれることとなります。まちづくりを行いながら同時にひとづくりも行える、この好循環によってLOMが大きく成長しこの地域の発展に多大な影響を与えることができるのが青年会議所という団体です。我々が住み暮らすまちの魅力を最大限に発揮できるようまた発信できるよう全メンバーでその想いを構築していくとともに、妥協のない限界にも全メンバーで挑戦していきましょう。

そして本年度は愛媛ブロック大会法皇大会が開催されます。愛媛ブロック内において本年一番注目されるのが我々法皇青年会議所です。本大会スローガンを『覚悟をもった挑戦を～すべては次世代のために～』とし、四国中央市に住み暮らす我々が次の世代に残せるもの、繋いでいけるもの、新たな時代を築く先駆けとなるようしっかりと大会を創りあげてまいります。式典を6月30日、記念事業を7月28日に開催する運びとなりました。本大会において我々現役でしっかりと構築していく所存ではありますが、是非ともシニア会のメンバーの皆様、先輩の皆様のご助言、ご協力も頂きながら本大会を法皇青年会議所にしかできないものとなるよう全メンバーで取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

本年度は自分自身の成長のため地域の発展のために、『どんなことにも立ち向かう!どんな局面でも自分自身の限界に挑戦する!』。その気持ちを強くもち、メンバー全員が共に成長しそして法皇青年会議所が変革し続ける一年にしましょう。

シニアクラブ会長挨拶

「しっかりと自己紹介を」

シニアクラブ会長 やまうち かずまさ 山内 一正



本年度シニアクラブ会長の山内一正と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私が現役メンバーにまずお伝えしたい事は、自分は何処の誰べえかをしっかりと自己紹介するという事です。簡単と思われがちですが、実のところこれがなかなか難しい。私事で恐縮ですが少々さわりだけ。

出身地は土居町蕪崎です。この土居を名乗る地名は全国に多々ありますが、「小競り合いがあった小さな丘」の意味を含みます。また、蕪崎の地名ですが、蕪には「何も無い荒れた土地」従いまして特長の無い、当時としては普通場所となる訳ですが元来、蕪は鏑。これは木、竹の根または角で蕪の形に作り、矢の先に付けた鏑矢の鏑。矢合わせの時などに用いた矢で、古墳時代中期以降に現れ、時を経て現在の蕪となっております。また、東には藤原、西に天満と全国に沢山の地名が有ります……。

昔、自分を名乗る時「どこそこ村の誰べえ」と名乗っており、JC活動を通じ実り多き交流と友情を深める為、今一度自分のルーツを探り、しっかりと「自己紹介」を身に付け大いに役立てて下さい。そして友を増やして下さい。

最後に、シニアクラブは現役の援助と会員交流を主としており、微力ではございますが裏方として関わって参りたいと思います。

いやはや、本当に自己紹介は難しい。

委員長紹介

限界への挑戦

総務広報委員会 委員長 さかうえ 坂上 よしひろ 慶浩



2018年度総務広報委員会の委員長を務めさせていただきます、坂上慶浩です。

法皇青年会議所に入会し3年目になります。初めは、ただ参加している感じが強く、何をしている団体なのか、どのようにして事業が成り立っているか理解出来ておらず今でもわからないことの方がたくさんあります。

本年度総務広報委員会ではこれまでのクロスロードの他に法皇青年会議所のブランディング確立事業としてCM作成、放送を予定しております。青年会議所のブランディングを進めながら地域の方々に1人でも多く法皇青年会議所の存在、活動内容を知ってもらいたいと思っています。

不安が大きいスタートではありますが、今年のスローガン『挑む』のもと、日々学び、成長しながら委員会メンバーと共に様々な事に挑戦していけるよう精一杯頑張りたいと思いますので1年間よろしくお願い致します。

繋がる力と繋げる想い

地域の魅力発見委員会 委員長 すずき 鈴木 けん 健



2018年度 地域の魅力発見委員会の委員長を勤めさせていただきます鈴木健と申します。法皇青年会議所に入会して3年が経ちました。最初は何をやっている団体なのか…不透明な中、先輩方の後を追いかけていただけの日々でした。しかし徐々に青年会議所活動の意義と楽しさに気が付き始め、この活動を多くの方に広めて行きたいと言う想いも出てきました。遅いですが…

今年は「地域の魅力発見委員会」の名の通り、我々が住む四国中央市という市の魅力を再発見し、ドンドン発信して行きたいと思っています。この場所に住んでると忘れがちですが、産業、文化、人…魅力が沢山あります。特に人!こんなに面白い市はなかなか無いと思います!

そして、その活動を青年会議所メンバーだけでなく「この街を良くしたい!」と活動を行なっている他団体と心を通わせ、協力していける体制づくりの架け橋となるべく駆け回る一年にしたいと思います!どうぞ宜しくお願いします。

全てに挑む

まちづくり委員会 委員長 もりかわ 森川 ちから 力

本年度、まちづくり委員会の委員長を務めさせていただきます森川力と申します。よろしくお願い致します。

2016年入会から今年で3年目を迎えた中で委員長の職を任せていただけることを嬉しく思います。

まちづくり委員会の目玉事業は、こちらも3年目を迎える「職業見学事業」です。四国中央市内の小学生・中学生を対象に行う本事業は、参加される学生、保護者の方々、協力して下さっている企業様より非常に高い評価を頂いている事業であります。回を重ねる事で期待値も上がってくると思いますが、2018年度法皇青年会議所まちづくり委員会としての色を出せるように実施したいと思います。

また私自身、青年会議所活動と仕事の両立といったところで大変さを痛感しているところでございます。武岡理事長が掲げている今年のスローガンである「挑む」にまさに相応しい年になるのではないかと考えております。

仕事と青年会議所活動との両立が私にとって「挑む」ことであり挑戦です。どちらの業務も疎かにすることなく委員長という職を務めていきたいと考えておりますが、未熟な上迷う時も多々あるかと思えます。そんな時は委員会メンバー、スタッフの皆様、諸先輩方、法皇青年会議所メンバーを全力で頼りたいと考えておりますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。



本年度は、愛媛ブロック大会を主管致します。



出向者紹介



出向者として

愛媛ブロック協議会 ブロック大会連絡会議 議長 むらかみ 村上 まもる 守

本年度、日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会ブロック大会連絡会議に議長として出向させていただきます、村上守と申します。愛媛ブロックへの出向は初めてではありますが、愛媛ブロックにとって重要なブロック大会の議長として出向させて頂く事に、深く感謝致しております。

すでに予定者として役員会、会員会議所を経験させて頂いておりますが、今まで経験した事のない重圧と、緊張感があり、LOMでの委員長経験はありましたが、愛媛ブロックでは、また違った多くの経験を得る事のできる場であると感じております。

ブロック大会連絡会議では、2018年度第48回愛媛ブロック大会法皇大会記念式典、記念事業の実施を行ないます。法皇青年会議所の実行委員会と連携をとり、厳粛に執り行うことはもちろん、2019年度ブロック会長のお披露目と2019年度体制の新たな節目として、円滑に実施できるよう、企画、運営をしていきます。記念事業では、新たなブランドの創出を目的とした宝市を実施し、四国中央市の魅力を愛媛県内へ広く発信すると共に、愛媛県内各地の魅力を四国中央市の皆様へ発信致します。

最後に、愛媛ブロックでの経験を少しでもLOMへ還元できるように、精一杯努めてまいります。1年間宜しく願いいたします。

1月～2月活動報告

★1月 4日(木) 賀詞交歓会
6日(土) 紙初市
11日(木) 市長訪問
18~21日 京都会議
26日(金) 例会・総会

★2月 4日(日) 四国地区協議会
9日(金) 第一エリア合同公式訪問例会
24日(土) 愛媛ブロック協議会



ホームページに写真掲載しています

新入会員紹介

株式会社やまびこトータルらいふさぽーと しんどう 進藤 まこと 誠(36歳)



皆様こんにちは。株式会社やまびこトータルらいふさぽーとの進藤誠と申します。昭和57年8月15日生まれ、川之江高校出身で現在は、妻1人娘1人の女子に囲まれながら楽しく過ごしています。基本的にわいわいすることが大好きな男です。また、大好きな野球を小学校から大学まで部活動のみやってたような気がします。現在は、自ら動くこともなく当然、野球用具を身に着けることもなく野球観戦メインな感じです。昨年目標の中の1つに「H30年はゴルフを本格的に始めている。」という目標があったので今年は頑張りたいと思います。

仕事面では、司法書士事務所に12年間勤務。主に相続遺言・事業承継業務に携わり、相談者様の悩みや想いに寄り添いながら問題解決に至るまでの「ナビゲーター」として活動しておりました。H24年に現在の会社を立ち上げ、主にセミナー講師や相続事業承継のコンサルタントとして活動しております。セミナー講師の内容としては、「相続遺言事業承継」はもちろん「マネー」や「住宅ローン」といった分野のセミナーなどの講師も引き受けさせて頂くこともあります。

私がJCに入ろうと決意したのは、「ワクワクすること」や「楽しそうなこと」をみんなが一体となって取り組んでいる姿が見える中、メンバーの方々以外の参加者全員がとにかく楽しそうだったからです。「もしかしたら、そんなワクワク・ドキドキがあるなら、みんながそう感じてくれるのなら、自分のできることを出来る範囲でやっていきたい。」と思う気持ちを持って頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

てらい 寺井 もとぎ 基樹(35歳)
株式会社マサノ



皆様こんにちは。株式会社マサノの寺井基樹と申します。高校卒業以来14年ぶりに地元である四国中央市に帰ってまいりました。これまでは物流システムメーカーのダイフクに勤務し、滋賀工場で設計・開発を3年、東京で技術営業を6年経験しました。小さなベアリングの選定から延べ床面積2万坪のシステムソリューションの提案まで、エンジニアとして幅広くものづくりに携わってきました。

2016年2月にマサノに入り、現在は総務・人事労務をメインに担当しております。「社員を大切にし、社員と会社がともに成長する会社」を目指し、今必要なことは何なのか考えながら日々勉強・経験を積んでいるところです。

趣味はスポーツで小学生から大学、社会人(草)まで野球をしておりました。今は高校時代からの友人とテニスやゴルフで身体を動かしています。また週末は妻と娘(1歳8ヶ月)の3人で近くの公園やテーマパークに遊びに出かけ、娘を追いかけて走っています。

JCへの入会は、小学生からよく知る同級生のメンバーからまちづくりや仲間づくりについて熱い思いを聞き、自分も負けずに成長したいと考えたからです。今後はJCの活動を通じて、地域の理解を深め、発展に貢献できるように様々な活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

CROSS

-現役メンバーとシニアクラブを紹介-

FROM 現役メンバー

こんなメンバーいます!まだ知らない一面を知りたい

『所得税の確定申告もれに注意しましょう!』

石村君は本年度は副事務局長として活躍されています。

いしむら よしあき
2016年度入会 石村 義哲



石村重義税理士事務所の石村義哲と申します。毎年2月16日から3月15日は確定申告の期間となっています。個人事業主や不動産オーナー、給与以外の収入がある人等が確定申告の対象になります。会社員は、基本的には年末調整をすれば確定申告をする必要はありませんが、満期保険金の受け取りや医療費控除がある場合は確定申告が必要になります。

まず、満期保険金・解約返戻金がある場合ですが、一時所得として申告が必要になる場合があります。注意すべき点もあります。満期保険金を受け取り、新たな一時払い保険の保険料に充てる場合、保険金を受け取ったという感覚が少ない為、申告を忘れる事があります。また、保険金を受け取るのが満期日の翌年になる場合の申告は、満期日が属する年の一時所得として確定申告をする事になります。その他にも、懸賞金や競馬の払戻金なども一時所得として確定申告が必要になる場合がありますので気を付けて下さい。

次に、医療費控除についてですが、医療費控除というのはその年中に支払った医療費の総額が10万円(その年の総所得金額等が200万円未満の人は総所得金額の5%)を超える額が総所得から控除されるというものです。また、平成29年よりセルフメディケーション税制という特定一般用医薬品等購入費が1万2千円を超えると(控除上限8万8千円)総所得から控除される制度も始まりました。しかし、医療費控除とセルフメディケーション税制の両方の控除を同時に受ける事は出来ないのどちらか有利な制度を選択して下さい。また、その年中に支払った医療費の総額と言いましたが、保険給付金や高額療養費、出産一時金などを受け取った場合は支払った医療費から控除する必要がありますので、計算の際には注意が必要です。

身近な所でもそうでない所でも制度は変わっていき、それに対応していくのは大変です。しかし、知らないと損をしたり申告漏れになったりといった事もありますので、制度の変化にも関心を持ち情報収集に努めて頂きたいと思います。

FROM シニアクラブ

株式会社伊予機械製作所 代表取締役社長 いしかわ せいじ 石川 誠二

1974年4月27日生まれ。三島高校を卒業後、(株)伊予機械製作所に入社。部品加工作業、組立作業、機械調整作業等を勉強し、その後、営業へ移り2016年4代目代表取締役社長に就任致しました。仕事勉強中の21歳の時、旧伊予三島青年会議所に入会し正副委員長や各理事職、を経験し19年間青年会議所に在籍させて頂き、卒業前には、理事長、ブロック会長の貴重な役職をもらい、自分を成長させてくれる大きな一歩をくれた経験でした。

■会社紹介

創業者の志である「戦略的経営を積極的に行う」ことを常に信条に於き、紙製品、フィルム製品、不織布製品の加工機械、医療用品加工機械等の設計製造を行う会社です。弊社は過去の経験を活かし、一歩進んだ提案型の営業でお客様と共に発展する企業でありたいと願っています。

■後輩の皆さんへ

各地会員会議所の多くが会員減少に悩む中、毎年多数の新入会員が入会されるのを喜ばしく思います。青年会議所は活動の分だけ成長でき、その一人ひとりの成長こそが、まちづくりにとって前へ向かって変革する原動力となります。本年、武岡理事長のリーダーシップの下、同じベクトルに向かって経験し、その中から成長するという姿勢ですべてに向き合い、愛媛ブロック大会を成功へと導いてください。

これからの予定

★3月26日(月) 3月度例会(お花見)

★6月30日(土) 愛媛ブロック大会(法皇)

★4月26日(木) 4月度例会

★5月28日(月) 5月度例会

★6月26日(火) 6月度例会

ご協力どうもありがとうございました

作成編集:総務広報委員会【委員長:坂上慶浩】

石川雄大、井藤雅人、篠原謙介、柴垣健太、高橋誠治、長野光樹、新田和敏、長谷川綾、星川洋佑、真鍋和也、守屋真梨子

ホームページ <http://www.hohoh-jc/> Facebook <https://www.facebook.com/hohoh.jc/>

ブログ <http://ameblo.jp/hohohriji/>